



B型作業所「one」

私の事業をみなさん知っててください

株式会社あのん

代表取締役

於保 恭輔 さん

就労継続支援B型作業所 ONE

住所：福岡県大川市大字北古賀154-111

TEL：094418517805

FAX：094418517806

今月の夢追い人は、(株)あのんの於保恭輔さんにお話を伺いました。

「令和3年10月に創業をし、2年目になりました。障がい者の方の就労継続支援と共同生活援助を主に行っています」

就労継続支援とはどのような役割を持っているのでしょうか。

「就労支援は様々な形態があり、障がいの種類や程度に応じた支援を提供し、障がい者が社会に参加するためのサポートを行う場所になります。」

※⑨就労継続支援事業とは通常の事業所に雇用されることが困難な障がいのある方につき、就労や生産活動の機会を

提供するとともに、その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行う事業の事を言います。雇用契約を結び利用する「A型」と、雇用契約を結ばないで利用する「B型」の2種類があります。

就労継続支援A型事業とは：通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が可能である者に対して行う雇用契約の締結等による就労の機会の提供および生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援事業のこと。



就労継続支援B型事業とは：通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して行う就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援事業のこと。

就労継続支援A型とB型の違い
A型事業とB型事業の主たる違いは雇用契約の有無、つまり事業者と利用者の雇用関係が成立しているかないかという点です。A型事業の対象は「通常の事業所で雇用されることは困難だが、雇用契約に基づく就労が可能な方」



作業所内の様子

であり、B型事業の対象は「通常の事業所で雇用されることは困難で、雇用契約に基づく就労も困難な方」ということになります。

当社では就労継続支援B型事業所『ONE』を運営しています。就労支援と住宅の提供を行い、その中で困った事に対して支援をしています。

現在は柳川市に住居を構えていて、いわゆるグループホームのような形式で受け入れを行っています。生活の拠点をそこに置いて、生活の質を向上させるための支援を受けながら、就労支援のサービスも受けていただいております。就労支援でのお仕事は、ものづくりが中心になります。

障がいを持つ方の能力に合わせて、できるものがないものがありますので、アート作品を制作し、販売を行ったりしています。他に、企業様から委託を受けます業務になります。例えば、梱包用の箱折りだった

り、収穫されたネギの仕分けから調整作業をして出荷前までの状態にすることだったり、個人宅や企業の草むしりをさせて頂いたりしていますね」

この事業を始めるきっかけはあったのでしょうか。

「私は創業する前は就労継続支援B型事業所での勤務、共同生活援助の業務をしていましたので、自然とこの事業を始めたいという思いになりました。でも一番の理由は、障がいがある方のケアやサポートを通してその方の将来や就職先を作ってあげたいと思い、その家族への支援も含めて自分で立ち上げたい思いから創業しました。でも、始めてみるとやっぱり困った事ばかりでした」

毎日、支援をされている於保さんにこの業界についてもお伺いしました。

「親御さんが段々高齢になっていき、障がいを持つ子供さんを看ることができなくなってきた、施設を探されるケースが増えてきています。地域の高齢化も進んでいますので、年々要望が多くなっています。障がいについては、身体・知的・発達・精神・難病に大きく分

類されます。特に、うちでは全障がいの方も受け入れていきます。その方々はそれぞれの個性がありますし、その人に合った対応を心掛けています。なので、家からお仕事に通う方もいらっしゃいますし、グループホームから通う方もいらっしゃると思います。

どの業界も今は人手不足が大きな問題になっていっていると思いますが、この業界も同じです。就労継続支援事業所においては、人手不足は利用者のサポートに直結してしまいます。スタッフの研修や教育についても話し合いを重ねながら少しでも助成を行い、資格を取得できる体制を整えています。他にもこの業界では、介護職はあまりいいイメージを持たれていないことも原因の一つかもしれません。いわゆる3Kと呼ばれる『きつい・汚い・危険』でこの業界で働くことを敬遠されていることも事実です。そのため住居の提供を増やしていく計画を立てていますが、スタッフが見つけから進まずにいます。しかし、やりがいが多く見つかる仕事でもあります。就労支援を行っていく中で、利用者様が一般の事業所に仕事に行けるようになって今でも続け

てくれている姿を見ることが、この事業をやっているだけでよかったと思える喜びの一つです」

今後は支援の輪をもっと大きくしていきたいと話された於保さん。そんな於保さんの夢についてお伺いしました。

「介護事業と就労継続支援事業を主で行っているんですが、就労支援の場に飲食業や美容業などしっかりとそこで働ける環境を作りたいと考えています。例えば、飲食業では持ち帰り専門の揚げ屋さんや美容業では、ネイルや脱毛など、そういった場所で働ける環境を作ることが一番だと考えています。そういった意味では、いろんな業種を幅広く福祉と絡めながら仕事をしたいです。社会の多様性が重視されています。障がい者であっても僕たちみたいな会社でしっかり教えていくことが大事です。一般の企業や地域住民の方と溶け込んで生活していく。お互いが寄り添えるような理解が必要だとも感じます。そのために私が広告塔となって、私の事業所が何をやっているのかを発信し、イメージができて、皆が寄り添えるような取組をやっ